

Aputure®

**Light**  **storm**

LS 600d Pro  
プロダクト マニュアル

日本語

# Thank You!

Aputure Light Storm 600d Proをご購入頂きありがとうございます。  
Aputure LS600 d ProはLight Storm搭載のBowens Mountモジュラリティ、ワイアレスリモート、アプリコントロール、さらに防滴、ワイアレスDMX、DCバッテリーインプット、バッテリー充電とパワフルな機能が加わりました。

## ご使用前の注意事項

ご使用に際して、以下の安全面にご注意ください。

1. ご使用前に使用説明書をお読みください。
2. 子供の使用または、ご使用中子供が近くにいる場合はその場から離れないようお願い致します。
3. 表面温度が高い時には、火傷に注意してください。
4. コードの破損や、器機が落下したり打撃が加わった時は、必ず専門の修理を受けてから使用を再開してください。
5. パワーケーブルで転倒、つまづいて火傷など起こらないよう設置に配慮してください。
6. 延長コード使用の際は、ご使用のアンペア数対応のコードをお使いください。それ以下のコードを使用されると加熱の危険があります。
7. ご使用後は必ず、コンセントを抜いてから修理、お手入れをお願い致します。コンセントを引き抜くことはおやめください。

8. 使用後は、完全に冷めた状態で保管してください。
9. 感電防止のため水や他の液体には浸さないでください。
10. 火災と感電防止のため、分解しないこと。修理は専任の担当者か、cs@aputure.comへご連絡ください。組立の不備が使用中の感電の原因となることがあります。
11. 弊社が推奨する以外の付属品使用は火災、感電、負傷の原因となることがあります。
12. ご使用の際はアースをお願いします。
13. ライトご使用前に保護カバーを外してください。
14. リフレクターも保護カバーを外してからご使用ください。
15. 通気口を塞いだり、ライト点灯中は直接見ないようにお願いします。
16. LEDライトは可燃物に近づけないように。
17. お手入れには乾いたマイクロファイバークロスをご使用ください。
18. 修理点検は必ず専任の担当者にお任せください。
19. 外部業者による補修後の不具合は保証の適応外となります。
20. Aputureケーブルアクセサリのご使用をお願い致します。それ以外の製品が原因となり不具合が生じた場合の修理は、実費にて承ります。



21. RoHS, CE, KC, PSEそしてFCCの認証を受けています。通常使用範囲内でのご使用をお願い致します。適用外で発生した故障については保証外となり、修理代はお客様負担となります。
22. マニュアルは社内管理テストに基づいて作成しております。デザイン、スペック変更の際、追加情報のお知らせは致しかねますのでご了承願います。

この使用説明書は大切に保管お願い致します。

## FCCコンプライアンス

この器機はFCC規定の15条に適合し、以下二条件の下の使用を目的とする。

(1) 当器機は有害な干渉を起こさない。

(2) 当器機は意図に反する干渉を含め、すべての干渉を受理する。

警告：コンプライアンス責任者の許可なく変更または改造した場合、器機の使用権利を失効することになる。

注意：当器機は、FCC規定15条のデジタル機器クラスBの承認を受け、住宅地区での使用に有害とならないよう設計されている。しかしラジオ波の発生、使用あるいは放射が起こり、規定外の設置及び使用により電波障害を引き起こすこともある。特定の設置方法で電波障害が回避できる保証はない。この為、ラジオ及びテレビへの障害が確認されたら、設置の際に電源をオン/オフしながら調整する必要がある。

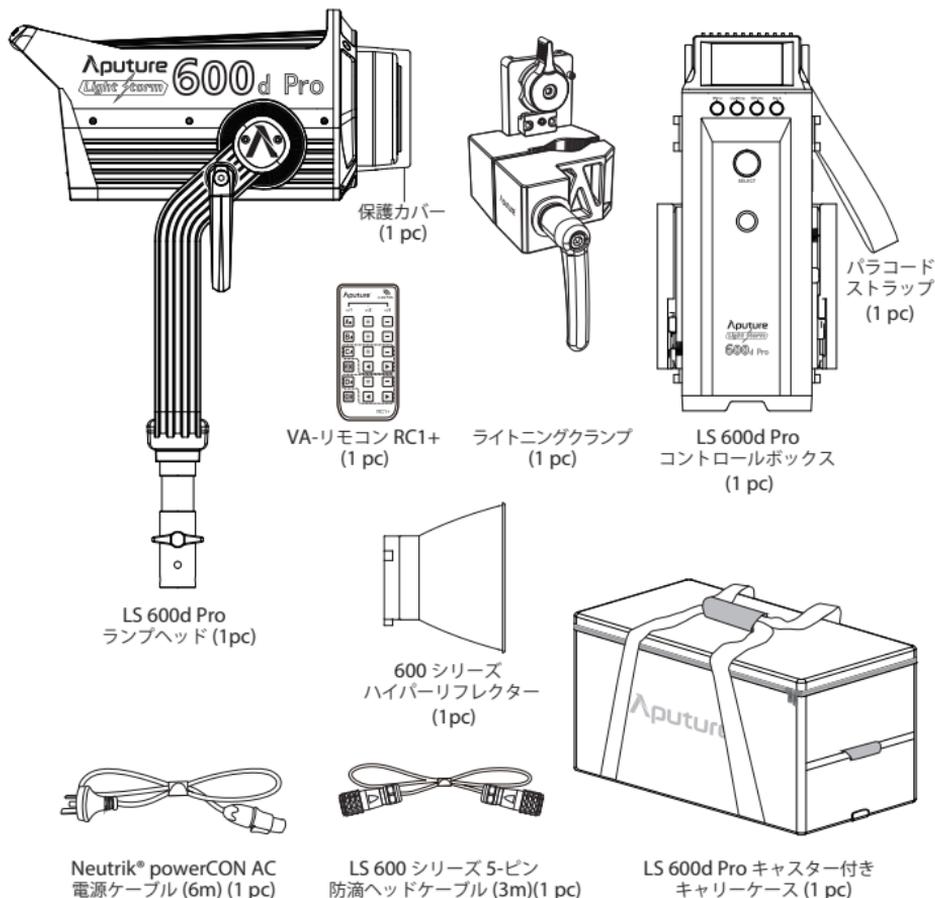
- 器機とレーザーの距離をあける。
- 器機とレーザーはそれぞれ違うコンセント回路へ接続して下さい。
- ご相談は販売店又は専門員へお問い合わせ下さい。

## RF 基準について:

当器機はRF基準を満たしていると評価されています。

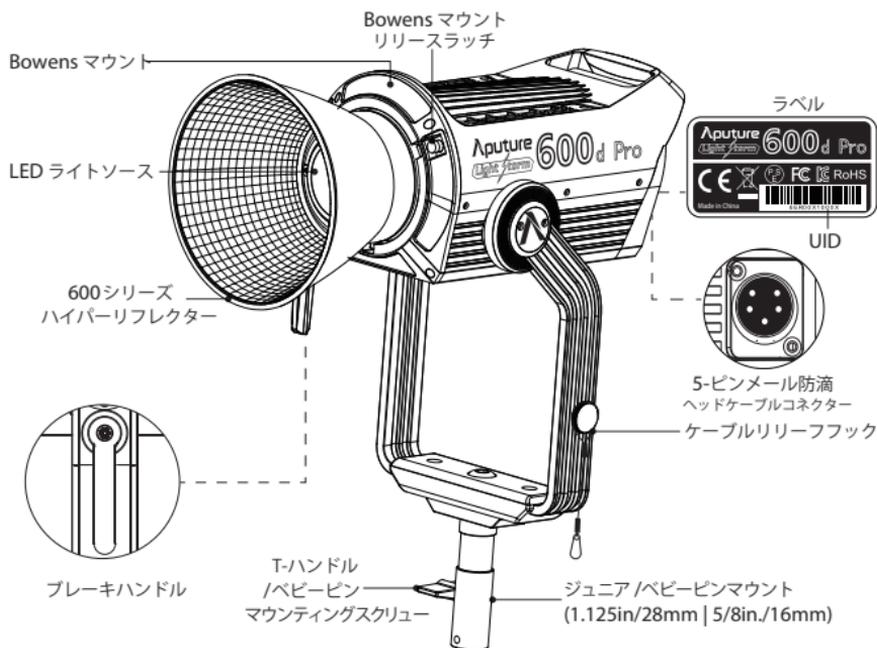
## パッケージリスト

商品パッケージに以下がすべて含まれていることを確認頂き、足りない場合は販売店までご連絡お願い致します。

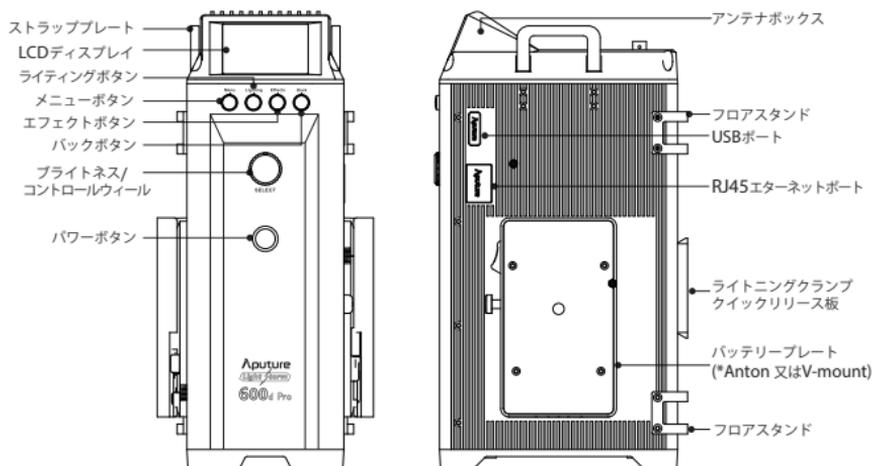


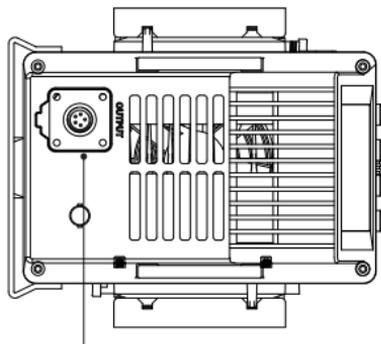
# 内容詳細

## 1. ランプヘッド

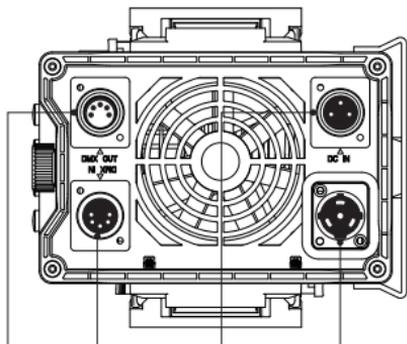


## 2. コントロールボックス



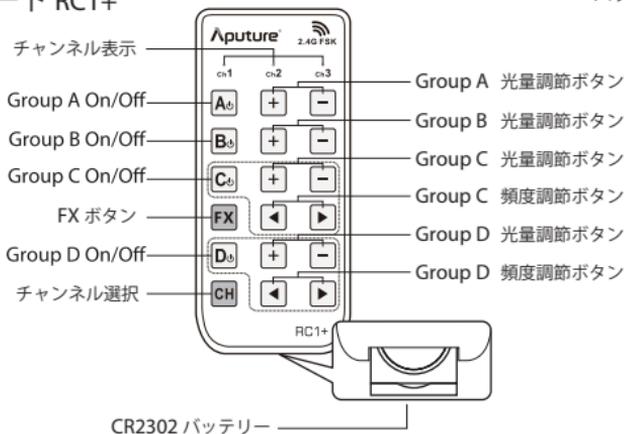


5-ピンヘッドケーブルコネクタ (メス)



DMX アウト DMXイン 48V DCインプット Neutrik®  
ポート ポート (3-ピン XLR) powerCON  
パワーインプット

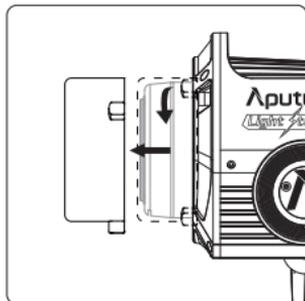
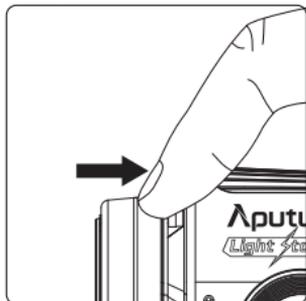
### 3. VA- リモート RC1+



## ライトセットアップ

### 1. プロテクションカバーの取り外し/戻し方

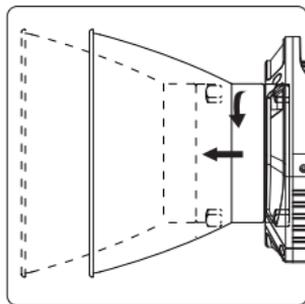
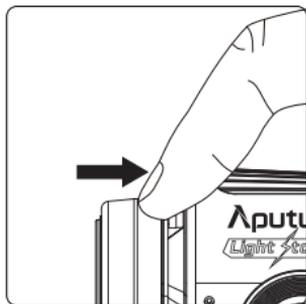
ピンを取り除き、カバーを右に回してカバーを外します。  
カバーを戻す時は、Bowensマウントへ差し込み左へ回します。



注：ライト使用前に必ずカバーを外し、ご使用後はカバーを戻してください。

## 2. ハイパーリフレクターの装着/取り外し方

リフレクターを装着するにはリリースラッチを押しながらリフレクターをBowensマウントにはめこみ反時計回りに回します。リフレクターを取り外すにはリリースラッチを押しながらリフレクターを時計回りに回します。

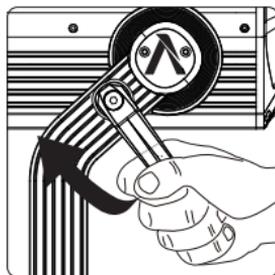
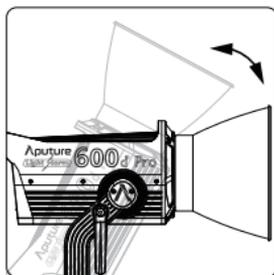
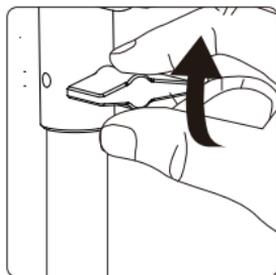


## 3. ランプヘッドのセットアップ

16mm スタンド（ベビーピン）には、ランプヘッドをスタンドに取り付けてからベビーピンレシーバーのTハンドルネジを閉めて設置する。

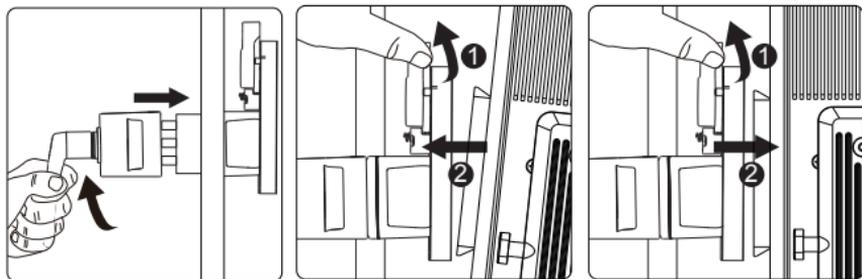
28mm スタンド（ジュニアピン）には、ランプヘッドをジュニアピンレシーバーの中に入れてスタンドのTハンドルネジを閉めて設置してください

ランプヘッドを上下にティルトしたい場合はヨーク横のハンドブレーキを緩めて調節します。ランプヘッドを調節する時は必ず片手で支えながら調節してください。



## 4. ライトニングクランプ作動方法

- 1) ライトニングクランプをスタンドに固定する。
- 2) コントロールボックスの取り付けは、リリースレバーを回してクイックリリースプレートを解除し、コントロールボックスをライトニングクランプへ取り付ける。  
(解除レバーは自動的に戻ります。)
- 3) コントロールボックスを外すには、コントロールボックスを支えながらリリースレバーを回してクイックリリースプレートから取り外します。

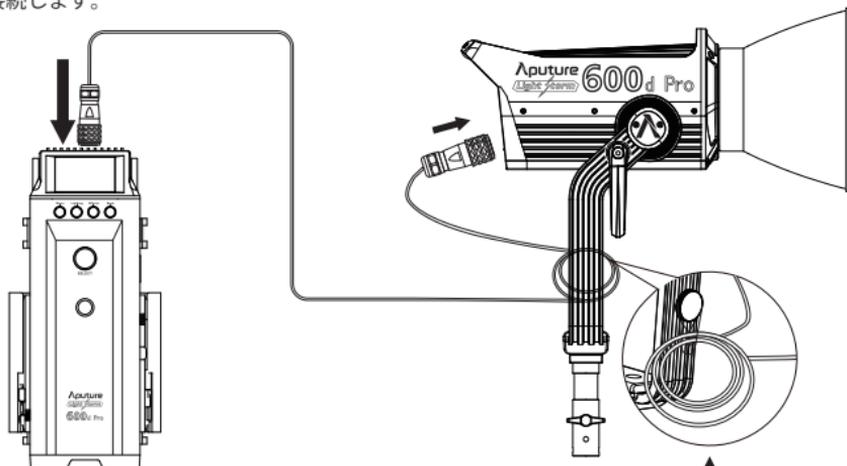


### スペック

重量	670g / 1.48lbs	寸法 (L*W*H)	10.35x8.74x12.5cm / 4.07x3.44x4.92in
* ライトニングクランプは直径2-5cmのパイプに取り付け可能 2-5cm / 0.79-1.97in.			

## 5. ランプヘッドをコントロールボックスに接続

ランプヘッドをLS 600シリーズ5ピン防滴ヘッドケーブルを使いコントロールボックスに接続します。

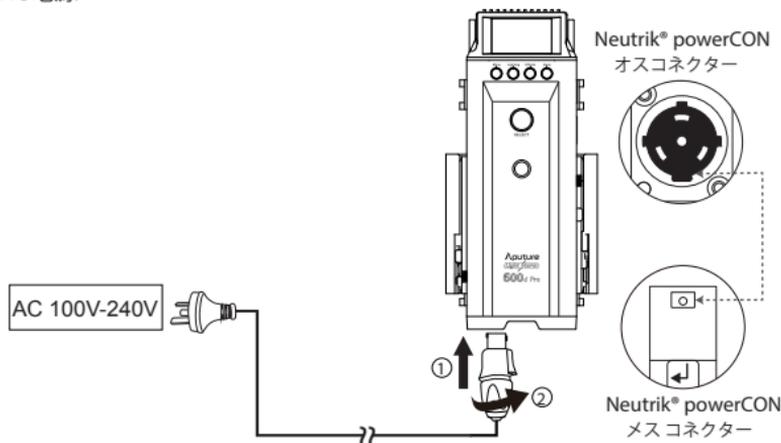


\* ケーブルへの負担を軽減するためロープを使用してケーブルを吊るすこと。

\* コネクター上部ラッチを引っ張ってヘッドケーブルを抜くこと。こうするとロック解除となる。

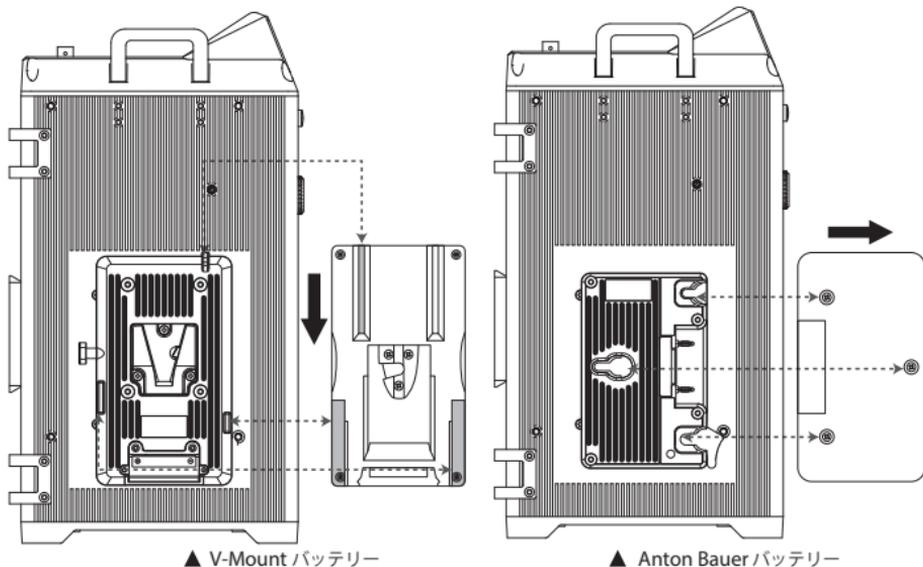
## 6. コントローラー接続

### 1) AC電源



Neutrik® powerCon ケーブル解除は、ケーブルコネクターの黄色のリリースタブを引いてコネクターを左に回す。

### 2) バッテリー運用



\* 使用バッテリー : V/AB-Mount Batteries: 14.4V(7.5A)-28.8V(7.5-15A) DC Input: 48V (15A) (720W Load)

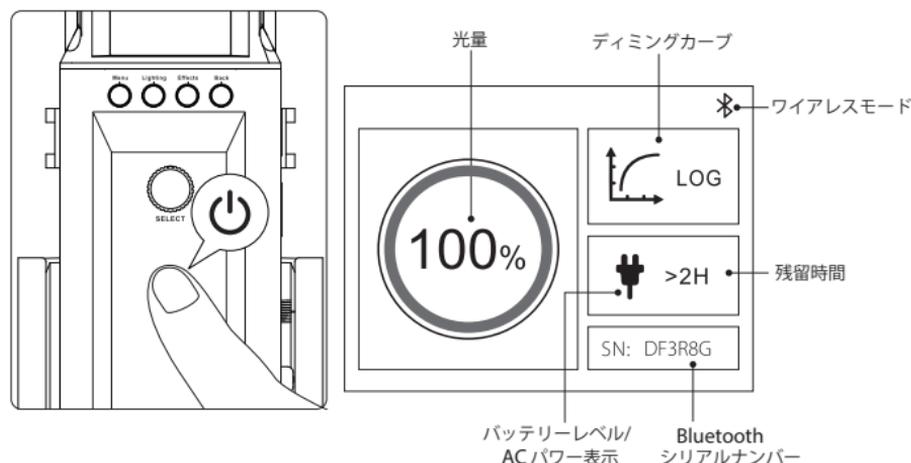
\*ご購入の際、コントロールボックス用VマウントまたはAマウントプレートを必要に応じて選んで頂きます。

## 7. バッテリー充電

ExpまたはLinear ディミングカーブオプションを使用中に光量70%以下であれば充電が可能です。Logディミングカーブオプションは光量30%以下で充電可能。S-Curveディミングカーブオプションは光量55%以下で充電可能です。

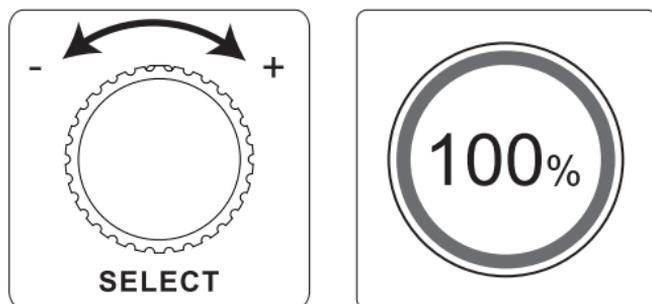
## オペレーション

1.電源ボタンを押してON・OFFにします。



2. 手動

1) ブライトネス/コントロールダイヤルで0.1%刻みで光量調整します。ダイヤルの回転速度で増減が変更されます。



2)システムメニューに変えるにはMenuボタンを押します。バッテリーパワーオプション、DMXモード、ディミングカーブ、ファンモード、スタジオモード、コントロールシステム、言語、アップデート、エフェクトがあります。

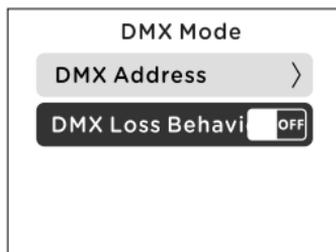
## 2.1) DMXモード

Menuボタンを押して、システムMenuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してDMXモードを選びダイヤルを押します。

DMXモードでDMXアドレスメニューを選ぶとLS 600d Pro が選択されます。

DMX Loss Behavior がオンであれば、DMX切断前の状態が保存されます。

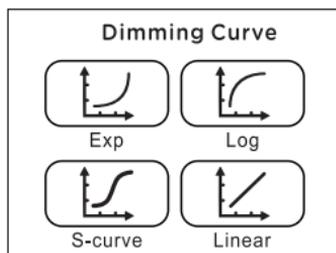
DMX Loss Behavior がオフの場合は、DMXモード選択前の状態へ戻ります。



## 2.2) ディミングカーブ

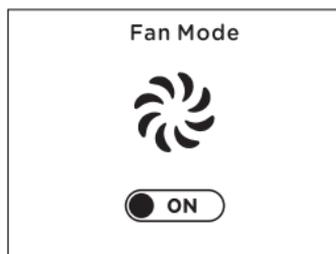
Menuボタンを押して、システムMenuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してディミングカーブを選び短く押します。

Exp、Log、S-Curve、Linearの4つのオプションからコントロールダイヤルを回して選びます。



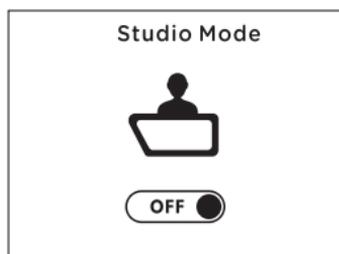
## 2.3) ファンモード

Menuボタンを押して、システムMenuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してファンモードを選び短く押します。ファンモードをオンにすると、ファンが回転し続け、オフにすると内部温度が適正になった時点で自動的にファンが止まります。



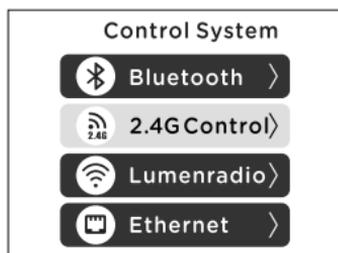
## 2.4) スタジオモード

Menuボタンを押して、システムMenuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してスタジオモードを選択してダイヤルを押します。スタジオモードをオンにすると通電後すぐにライトがつき、オフにすると電源ボタンを押さないとライトはつきません。



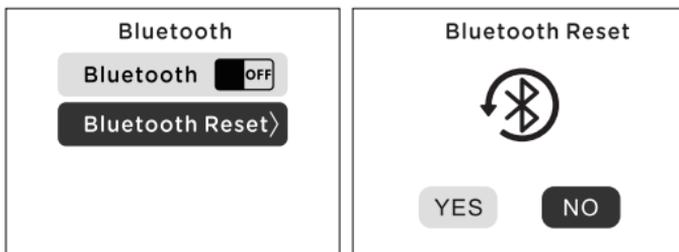
## 2.5) コントロールシステム

LS 600d Proには内臓のコントロール以外にBluetooth、2.4G、Lumenradio、Art-Netと4つのリモートコントロールがあります。どれか一つを選んで頂き、同時に複数を使用することはできません。



### 2.5.1) Bluetooth

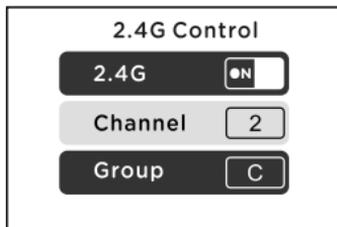
(1) コントロールシステムMenuからコントロールダイヤルを使ってBluetoothを選びSidus Meshコントロールを立ち上げます。Bluetoothのオン/オフはコントロールダイヤルを押します。Bluetoothのリセットを選んで、YESを押すと操作が開始し、NOでまた以前のメニューに戻ります。



(2) Bluetooth接続後は、Sidus Linkアプリを使い、ご使用の携帯あるいはタブレットから操作できます。Bluetoothへ接続できない場合は、[Reset Failed]と表示されライトは2秒後にはBluetoothモードへ戻ります。

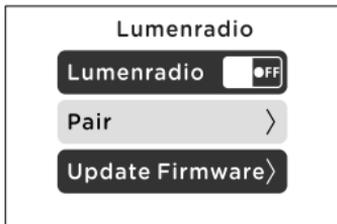
### 2.5.2) 2.4Gコントロール

コントロールシステム Menuからコントロールダイヤルを使って2.4Gコントロールを選び2.4G RF FSKリモートコントロールを有効化します。コントロールダイヤルを設定し短く押せば設定できます。チャンネルやグループ選びもコントロールダイヤルを使って接続のオン/オフをします。RFとリモートのボタンは同一の表示です。



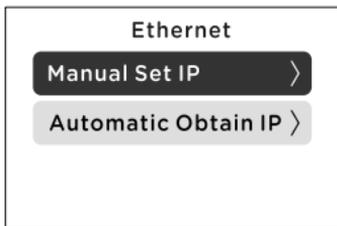
### 2.5.3) Lumenradio

コントロールシステム Menuからコントロールダイヤルを使ってLumenradioを選びWireless DMX コントロールを有効化します。Lumenradio接続オン/オフはコントロールダイヤルでLumenradioを選んでダイヤルを押せば設定できます。Pairing と Firmware Update 機能も同様にします。



### 2.5.4) Art-Net

コントロールシステム Menuからコントロールダイヤルを使ってEthernetを選びArt-Netコントロールを有効化します。Ethernet Modeではお好きなIPアドレスを設定したり、自動設定のIPアドレスを入手できます。またローカルIP、リモートIP、Gateway、MACアドレス情報の閲覧も可能です。



## 2.6) 言語

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回して言語を選び、ダイヤルを押して言語選択モードへ切り替えます。コントロールダイヤルで、英語、簡体字中国語等の選択肢の中から言語を選びます。



## 2.7) アップデート

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回してアップデートを選び、ダイヤルを押してアップデートモードへ切り替えます。コントロールダイヤルを使って、FirmwareまたはFirmware/バージョンのアップデートを選びます。

Firmwareアップデートを選ぶとFat16/32フォーマットのUSBドライブを入れてアップデートできます。

Firmware Versionを選ぶと現在のFirmware Versionと作られた時のFirmwareを閲覧できます。Sidus Link搭載のOTA Firmwareを使ってFirmwareアップデートも可能です。

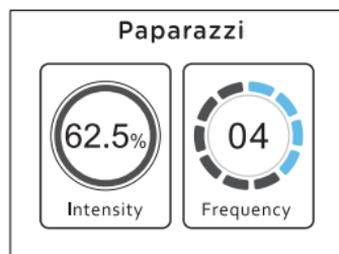


## 2.8) エフェクト

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回してEffectsを選び、ダイヤルを押してEffectsモードへ切り替えます。

或いは、コントロールボックスのEffectsボタンを押してもモード切り替え可能です。コントロールダイヤルを使ってライトの効果を選びます。

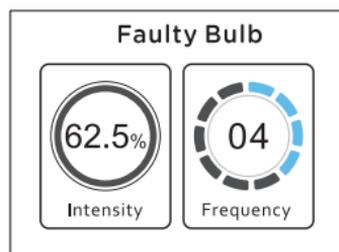
a. パパラッチ



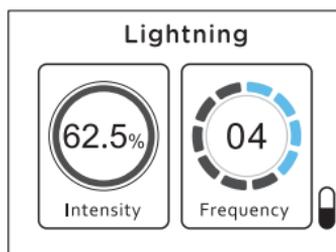
b. 花火



c. 壊れた電球

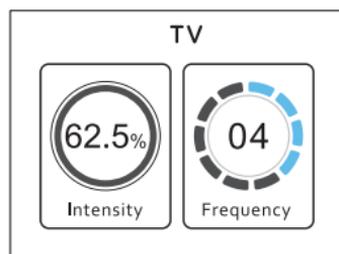


d. 稲妻

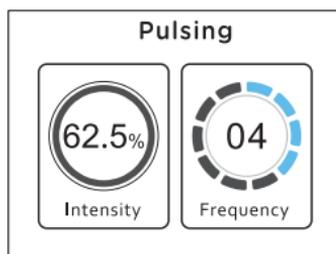


\* Effectsボタンを押せばエフェクトのトリガーが出来ます。  
Effectsボタンを長押しすればサイクルモードに切り替わります。

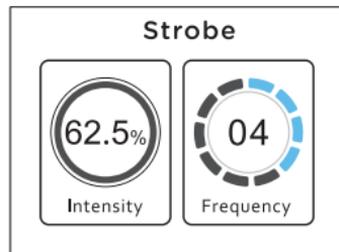
e. テレビ



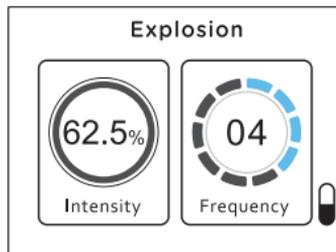
f. 脈



g. ストロボ



h. 爆発

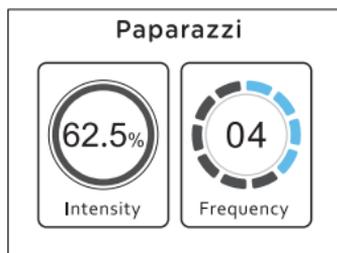


\*爆発のエフェクトはEffectsボタンを押して爆発をトリガーする事も出来ます。

Lighting FX モードではコントロールダイヤルを回してIntensityかFrequencyを選んでダイヤルを押します。

Intensity調整モードは、0.1%刻みに0%から100%の間でコントロールダイヤルを回して設定します。

Frequency調整モードは、スクリーンに表示される1から10またはランダムの数Rへコントロールダイヤルを回します。



3) Lighting ボタンを押せばどのメニューからでもメインのインターフェースへ戻ることができます。

4) Effectボタンを押してどのメニューからでもエフェクトインターフェースへ移動できます。

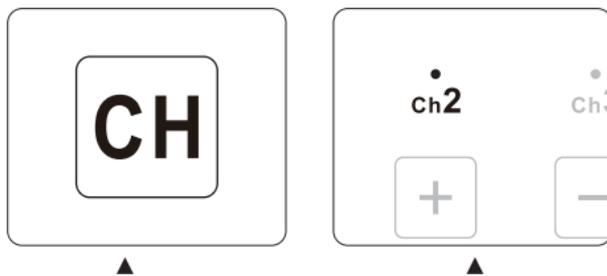
### 3. リモートコントロール

LS600 d Proは、どのチャンネルやグループからも操作できます。

\* Light Stormライトは3チャンネル(1/2/3)と4グループ(A/B/C/D)があります。

\* 光量とライティングエフェクト調整はCかDグループを使い、光量調整はAとBグループを使います。

1) リモートのチャンネル設定

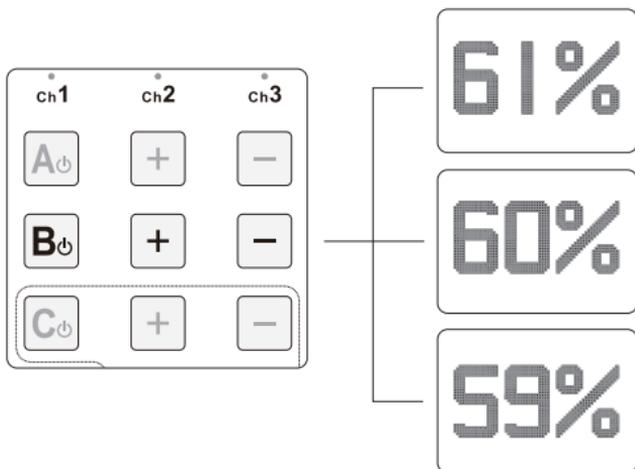


チャンネル1、2、3からCHボタンを押します。

ch2 インディケーター

## 2) 光量調整

A/B/C/Dを押してライトをオン/オフし、0から100%の間で光量調整します。



\* リモコンはライトがDMXモード中は使用できません。

\*\* リモコン操作はライトがWifi 2.4Ghzモード中にしか使用できません。

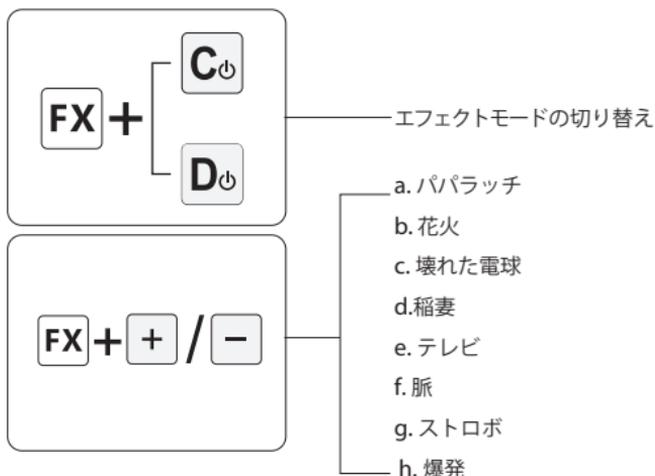
## 3) FX コントロール

リモコンからFXモードへの切り替えは(FX + C/D)を押します。

ライティングエフェクトを変えるは(FX + + / -)を押します。

光量の調節は(+ / -) ボタンで出来ます。

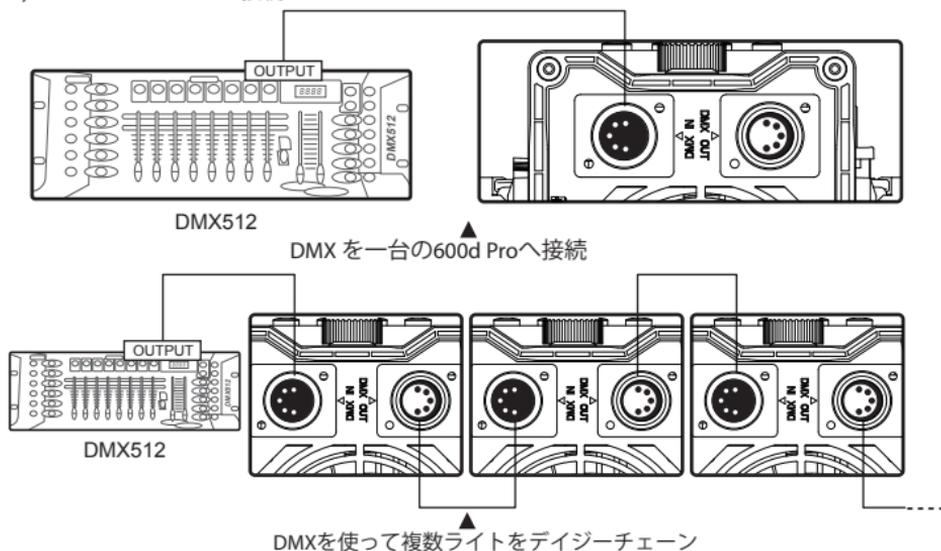
頻度の調節は(◀ / ▶) ボタンで出来ます。



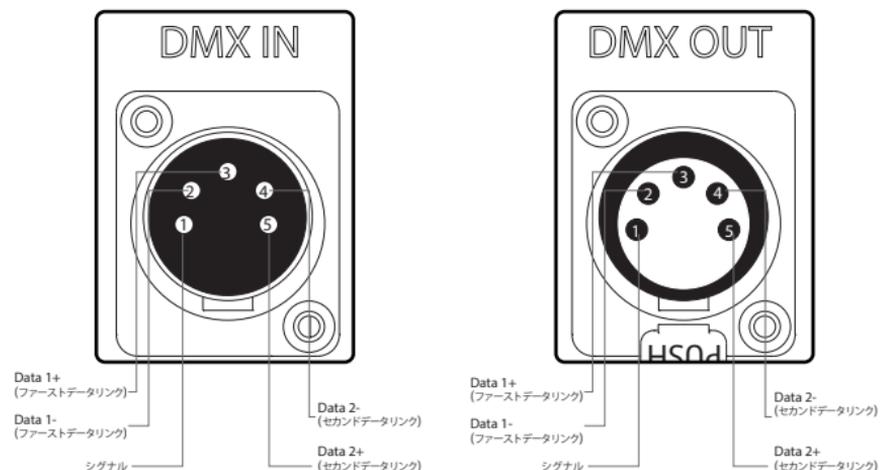
\* リモコン操作でのライティングエフェクトはグループCまたはDでしか操作出来ません。

## 4. DMX 接続

### 1) DMXコントローラー接続



\* 下は DMXインターフェイス回路図:



### 2) チャンネル選定

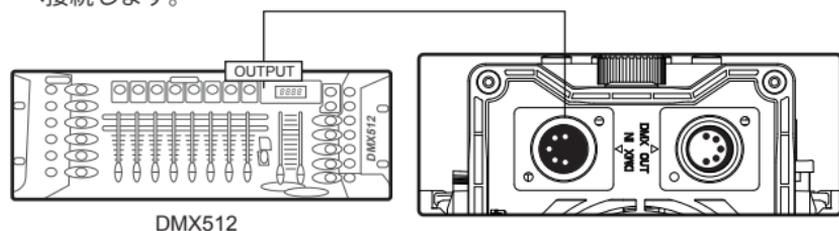
DMXモードではDMXコントローラーのチャンネルとライトを合わせてから選定します。

\*DMXチャンネルデフォルトは"001"

\*\*DMXチャンネルは 1 から512まで

## 5. DMXからの操作

- 1) 下の図のようにDMXコントローラーの OUTPUTを 600d ProコントローラーINPUTへ接続します。



DMX512

## 2) DMX チャート

DMX チャンネル値 / 機能 (5 DMX チャンネル)		
チャンネル	値	機能
1		光量
	0-255	0 ~ 100%
2		モード選択
	0-127	マニュアルモード
	128-255	FXモード
3		FX 操作
	0-19	パパラッチ
	20-39	花火
	40-59	壊れた電球
	60-79	稲妻
	80-99	テレビ
	100-119	脈
	120-139	ストロボ
	140-159	爆発
	160-255	未定
		FX 頻度設定
	0-19	1

4	20-39	2
	40-59	3
	60-79	4
	80-99	5
	100-119	6
	120-139	7
	140-159	8
	160-179	9
	180-199	10
	200-219	ランダム
220-255	未定	
5		稲妻モード
	0-9	スタートポイント
	10-127	トリガー
	128-255	サイクルモード
		爆発モード
	0-9	スタートポイント
	10-127	トリガー
128-255	未定	

\* DMXモードでは光量、頻度、FXモード、FX頻度設定の操作はDMXコントローラーで行います。  
 \*\*600d Proの複数ライトをそれぞれ使用する場合（例えばAとB）、ライトの間隔を5チャンネル空けます。  
 例えばDMX001がライトA、DMX006がライトBとすれば、DMXコントローラーで個別にコントロールできます。

## 6. Sidus Link アプリ

Sidus LinkアプリはiOSアプリストアまたはグーグルプレイストアからダウンロードすることができます。詳細は [sidus.link/app/help](https://sidus.link/app/help) をご参照ください。



Get Sidus Link® App



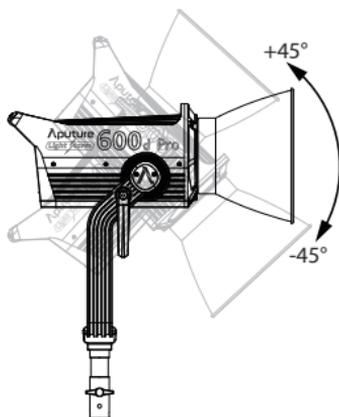
[Sidus.link/app/help](https://sidus.link/app/help)

## スペック

動作電流	8A	電源	100V~240V 50Hz/60Hz
消費電力	≤720W	出力	≤600W
CRI	≥96	TLCI	≥96
CQS	≥95	無線周波数	2.4GHz
チャンネル	1/2/3	グループ	A/B/C/D
CCT	5600±200K	防滴	Yes
バッテリー入力電源 電圧範囲	14.4V-15A ≥180Wh 26V-8.5A ≥180Wh 28.8V-7.5A ≥180Wh	冷却モード	アクティブ冷却
リモコン操作範囲	≤100m	アプリ操作	Bluetooth
寸法 (L*W*H)	ランプヘッド	30.78 x 24.36 x 15.01cm	
	コントロールボックス (Anton Battery)	32.83 x 17.56 x 14.11cm	
	コントロールボックス (V-Mount)	32.83 x 17.56 x 14.54cm	

\* ランプ部分への浸水が原因で故障した場合は保証の限りではありません。

\* 豪雨でのLS 600d Pro使用に際しては、以下のようにランプヘッドを傾斜させることをお勧めします。



## フォトメトリック

距離	1m	3m	5m
リフレクター無し	22150 (lux)	2600 (lux)	1020 (lux)
	2058 (fc)	242 (fc)	95 (fc)
600 シリーズ ハイパーリフレクター	98500 (lux)	8500 (lux)	3000 (lux)
	9150 (fc)	790 (fc)	280 (fc)

\* 平均値です。実際の明るさには誤差が生じることがあります。

## Trademarks

BowensはBowens社が中国及びその他諸外国で登録済みの商標です。

Anton Bauer はAnton Bauer社が米国及びその他諸外国で登録済みの商標です。

Neutrik®は Neutrik®社が米国及び諸外国で登録済みの商標です。

# Aputure®

## GUARANTEE CARD

Serial No.	
Item Name	
Purchase Date	
Buyer Name	
Buyer Phone	
Buyer Add	
Franchiser Seal	

### Aputure®

Aputure Imaging Industries Co., Ltd.

Inspection: Qualified

Add: F/3, Building 21, Longjun Industrial Estate, HePing West Road, Shenzhen, Guangdong

## Service Warranty (EN)

Aputure Imaging Industries Co., Ltd. warrants the original consumer purchaser from defects in material and workmanship for a period of one (1) year after the date of purchase. For more details of warranty visit [www.aputure.com](http://www.aputure.com)

### Important:

Keep your original sales receipt. Be sure the dealer has written on it the date, serial No. of the product. This information is required for warranty service.

### This warranty does not cover:

- Damage that is the result of misuse, abuse, accident (including but not limited to damage by water), faulty connection, defective or maladjusted associated equipment, or the use of the product with equipment for which it was not intended.
- Cosmetic defects that appear more than thirty (30) days after the date of purchase. Cosmetic damage caused by improper handling is also excluded.
- Damage that occurs while the product is being shipped to whoever will service it.

### This warranty is void if:

- The product identification or serial No. label is removed or defaced in any way.
- The product is serviced or repaired by any one other than Aputure or an authorized Aputure dealer or service agency.

Aputure Imaging Industries Co., Ltd.

Add: F/3, Building 21, Longjun industrial estate,  
HePing West Road, Shenzhen, Guangdong

E-MAIL: [cs@aputure.com](mailto:cs@aputure.com)

Sales Contact: (86)0755-83285569-613